

台風19号に伴う降雨による防災情報(第2報)

最上川ダム統合管理事務所では、台風19号に伴う降雨により寒河江ダムへの流入量が洪水量200m³/sに達したことから、10月12日20時30分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

1. 出水の概要

最上川ダム統合管理事務所では、台風19号に伴う降雨により令和元年10月12日18時00分に災害対策支部を設置し「注意体制」に入っておりましたが、寒河江ダムの流入量が洪水量に達したことから、10月12日20時30分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

2. 管内ダムの現在の流入量(20時30分現在)

寒河江ダム：216m³/s

10月12日20時30分現在の寒河江ダムの状況は別紙のとおりです。

3. 今後の見通し

最上川ダム統合管理事務所管内では、降雨の状況から徐々に流入量が増加する見込みです。下流の河川では、今後の降雨の状況によっては、水位が急激に上昇する可能性がありますので、気象情報やダム情報に十分に注意してください。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158
副所長 後藤 浩志 (内線204)
調査課長 片桐 真也 (内線351)
電話 0237-75-2311(代表)

令和元年10月12日 20時30分

寒河江ダム

ダム貯水位： 標高 369.79m

ダム流入量： 約216m³/s

ダム放流量： 約54m³/s (発電のための放流含む)

流域平均時間雨量： 1時間に 13.8mm (10月12日19時00分～10月12日20時00分)

流域平均累計雨量： 降り始めから 66.5mm (10月11日20時00分～10月12日20時00分)

